



ほけんだより7月号

オリーブ守山保育園 令和2年7月1日



6月の感染症

- 上気道炎…4名 溶連菌…3名
- 胃腸炎…4名
- 突発性発疹…1名

プール遊びが始まり、子どもたちの楽しそうな声が響き渡っています。水に触れることで皮膚を丈夫にし、心肺機能も高めます。また、7月は暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期にもなります。特に今年は新型コロナウイルスにより新しい生活様式が求められ、より熱中症にもなりやすくなっています。暑さに慣れていない梅雨明けや急激に気温が上がった日は特に注意が必要です。喉がかわいていなくても水分をこまめに摂取するようにしましょう。

夏に多い感染症

ヘルパンギー

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ほう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。



ウイルス感染によって起こる病気です。これらの病気は6月頃から徐々に増え7月がピークとなります。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3～5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ほうができる、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段よりも多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにし



プール前の健康チェック



*耳、鼻、喉、目、皮膚の病気は治療を済ませておきましょう。

また、治療中の病気などがあれば、事前にお知らせください。

*爪を切りましょう。長いと、けがの原因となります。

こんな時はプールに入れません。



- ・熱がある。または、前日に熱があった。
- ・鼻水が出ている。
- ・喉やその周りが赤い、喉に痛みがある。
- ・目が赤く充血している。
- ・普段よりも目やにが出ている。
- ・普段よりも耳だれが出ている、耳の痛みを訴える。

ベビーカーの注意点



ベビーカーに乗っている子どもは地面に近い位置にいるので、体感温度は大人より2～3℃高いと言われています。散歩をする時は、涼しい時間帯を選び、照り返しの少ない土の路面にしましょう。日除けの屋根が付いていても、夏場は30分以内に留め、子どもの様子を時々チェックしながら、脱水症状を起こさないよう、水分補給はこまめに行いましょう。